

4月7日融雪洪水に伴う玉川ダムの効果について

4月7日は気温の上昇に伴う融雪と、低気圧による前線性の降雨による出水となり、玉川ダムでは流入量が増加したため、下流河川の増水を低減させるために「洪水調節」を行い、約645万立方メートルの水量をダムに貯め込みました。

大仙市神宮寺地点では約20cmの水位低減効果があり、もし玉川ダムによる洪水調節が無かった場合”避難判断水位”を超えていたことが予想されます。また、秋田市椿川地点では約70cmの水位低減効果があったと思われます。

※”避難判断水位”

市町村長の避難勧告等発令判断、住民等の避難判断の目安となる水位で、洪水予報指定河川では、平成19年度に新規設定された水位です。

■洪水発生日
平成25年4月7日

■4月7日の洪水

洪水発生日	平成25年4月7日
最大流入量の時刻	7時20分
最大流入量	毎秒 約251立方メートル
最大流入時の放流量	毎秒 約31立方メートル
調節量	毎秒 約220立方メートル
貯留量	約645万立方メートル

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときにダムから流している水の量

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 柴田 富士男(内線:201)

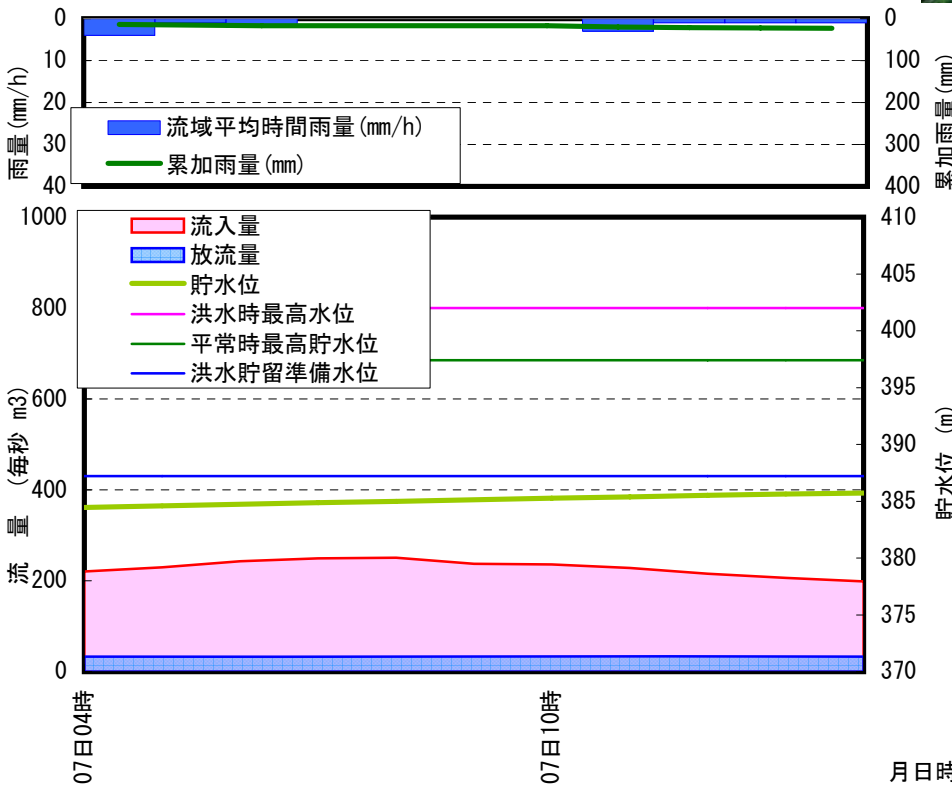
管理係長 細川 朋(内線:332)

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL:0187-49-2170 / FAX:0187-49-2166

平成25年度 4月7日 融雪出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒 251.01m³/s(7日7時)を記録しました。7日4時には洪水量(ダムへの流入量が毎秒200m³)に達し、洪水調節を開始。約645万m³をダムに貯め込み、下流の岳見橋(大仙市神宮寺)地点で約0.2mの水位低減効果を発揮しました。

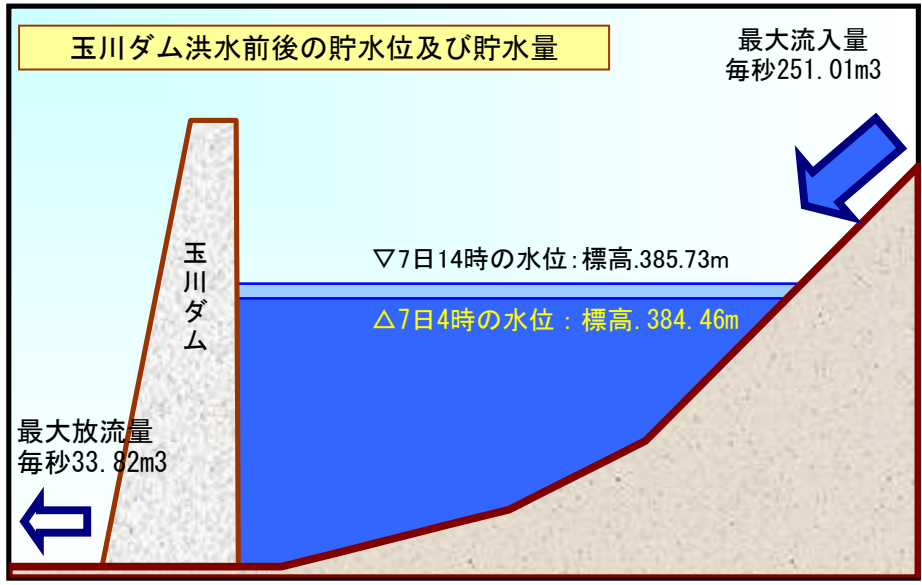


流域平均時間雨量最大
1時間に5.0mm
(7日0時)

流域平均累加雨量
27.0mm

最大流入量 毎秒
251.01m³(7日7時)のうち、毎秒約
220m³(88%)をダムに貯
め込みました

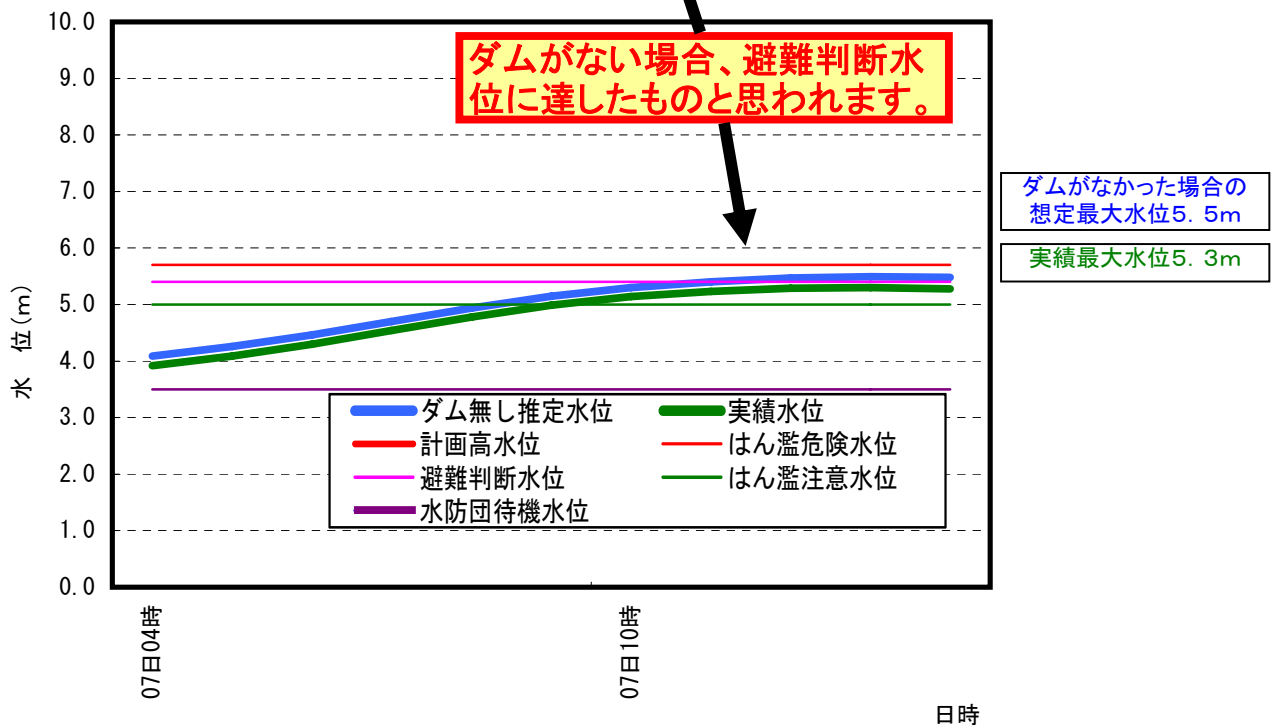
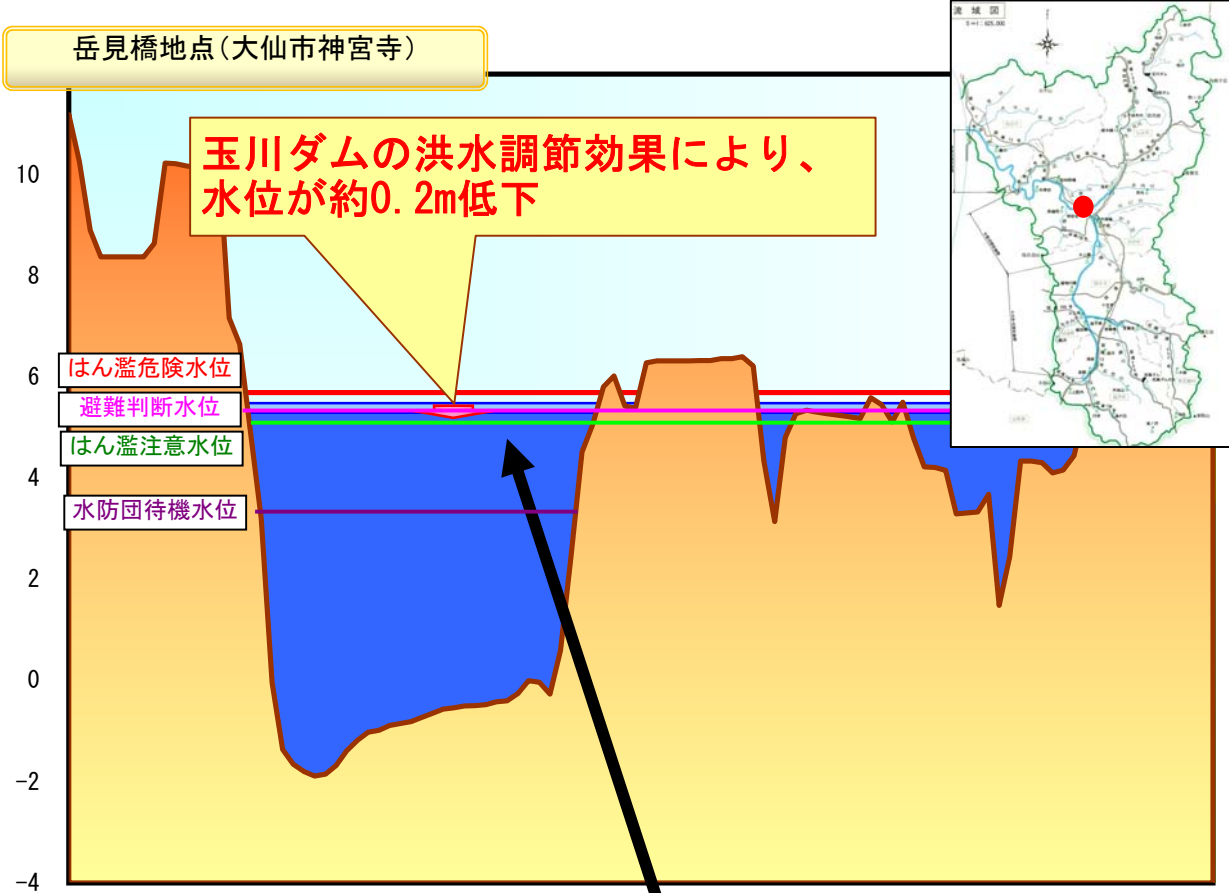
玉川ダム洪水前後の貯水位及び貯水量



約645万m³の水をダムに貯めました

これは、
東京ドーム 約5.2個分
(124万m³)
セリオン 約10個分
(秋田ポートタワー)
(約68万m³)
25mプール 約12,892杯分
(約500m³)
に相当します

下流河川での効果量



下流河川での効果量

黒瀬橋地点(秋田市雄和椿川)

